

海抜表示シートの設置に関するQ&A

番号	質問	回答
1	自宅はどのくらい浸かるのか。	想定される浸水の深さは、下記リンク先の広島県ホームページ『「広島県津波浸水想定図」の作成について』から確認できます。 https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/kikitorikumi/tsunamisinsuisouteizu.html
2	どのように活用すればよいのか。	日頃から地域の地盤の高さを知って頂き、津波災害を認識して避難行動に繋げてください。
3	設置箇所はどういったところか。また、箇所数はどうか。	主に通学路を中心に200～300m間隔で設置しています。箇所数は約800箇所です。
4	自宅の前にはつけてもらえないのか。	通学路に対して200～300m間隔で設置するなど、広島県の中で決まりをつくり、設置しています。ご自宅の地盤の高さは、下記リンク先の国土地理院ホームページの地理院地図から無料で確認できます。 http://maps.gsi.go.jp/#5/35.362222/138.731389
5	海抜とは何か。	東京湾の平均海面をゼロとした高さです。
6	どのような津波を想定しているのか。	南海トラフ巨大地震による「最大クラスの津波」や、瀬戸内海海域の活断層等による「津波到達時間が短い津波」など、合計13ケースが想定されています。なお、津波影響開始時間※は、南海トラフ巨大地震で37分、瀬戸内海海域の活断層等で3分と想定されています。 ※津波影響開始時間：海域を伝播してきた津波により、おおむね海岸線において地震発生後に初期潮位から±20cm（海辺にいる人々の人命に影響が出る恐れのある水位変化）の水位変化が生じるまでの最短の時間を表したものの。